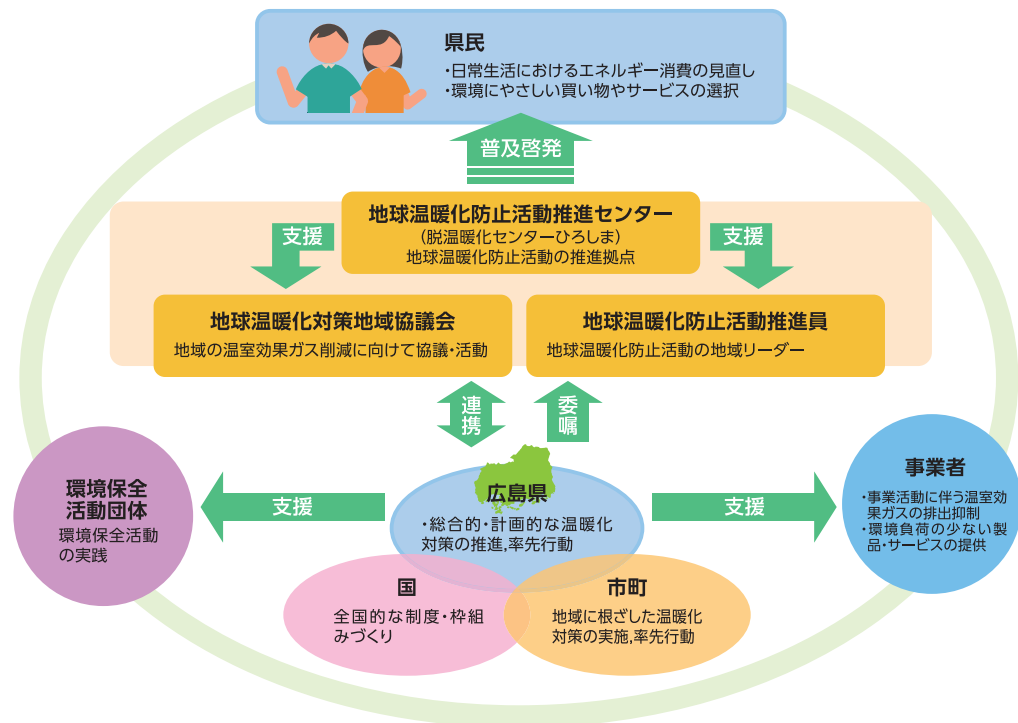


計画の推進

- ・県民, 事業者, 地域団体等の各主体と連携・協働して, 本計画を推進します。
- ・施策・事業の実施状況は, 毎年度把握し, 環境白書を活用して, 県民に公表します。



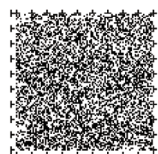
【成果指標】

成果指標項目	基準値 (H25)	現状 (H28)	目標値 (R12)
二酸化炭素排出量	—	▲1%	▲21%
H25 比削減率 (産業部門)	(4,094 万 t-CO ₂)	(4,040 万 t-CO ₂)	(3,231 万 t-CO ₂)
二酸化炭素排出量	—	▲10%	▲34%
H25 比削減率 (民生 (業務) 部門)	(405 万 t-CO ₂)	(366 万 t-CO ₂)	(267 万 t-CO ₂)
二酸化炭素排出量	—	▲5%	▲15%
H25 比削減率 (運輸部門)	(613 万 t-CO ₂)	(583 万 t-CO ₂)	(522 万 t-CO ₂)
二酸化炭素排出量	—	▲11%	▲31%
H25 比削減率 (民生 (家庭) 部門)	(579 万 t-CO ₂)	(517 万 t-CO ₂)	(399 万 t-CO ₂)
二酸化炭素排出量	—	+5%	+5%
H25 比増加抑制率 (廃棄物部門)	(45 万 t-CO ₂)	(47 万 t-CO ₂)	(47 万 t-CO ₂)
その他ガス排出量	—	+16%	▲19%
H25 比削減率	(167 万 t-CO ₂)	(194 万 t-CO ₂)	(134 万 t-CO ₂)
太陽光発電設備導入容量	395 千 kW	1,359 千 kW (R1)	1,858 千 kW
バイオマス発電設備導入容量	139 千 kW	128 千 kW (R1)	現状値より増加
廃棄物発電設備導入容量	64 千 kW	68 千 kW (R1)	現状値より増加
二酸化炭素の回収・再利用に係る研究開発事業の数	—	5*件 (R2)	現状値より増加 (R7)
二酸化炭素の回収・再利用に係る実用化件数の数	—	1 件 (R2)	現状値より増加 (R7)
手入れ不足人工林の間伐面積	—	617ha (R1)	1,050ha (R7)

※ 国のカーボンリサイクル関連予算を活用した技術開発のうち, 大崎上島町の実証研究拠点化に係るもの

【主な参考指標】

参考指標項目	基準値 (H25)	現状 (H28)	目標値 (R12)
電力使用量	—	▲8%	▲24%
H25 比削減率 (民生 (業務) 部門)	(17,076TJ)	(15,792TJ)	(12,399TJ)
次世代自動車導入割合	8.1%	17.8% (H30)	40%
電力使用量	—	▲7%	▲24%
H25 比削減率 (民生 (家庭) 部門)	(23,711TJ)	(22,251TJ)	(18,013TJ)
気候変動適応策の認知度	—	(R3 年度中に現状値を把握)	(現状値を踏まえ設定)
環境保全活動に取り組んでいる県民の割合	—	59.9% (R2)	65% (R5)



これは音声コードです。目の不自由な方への情報提供を目的としています。

広島県環境県民局環境政策課

〒730-8511 広島市中区基町10-52
TEL (082)513-2912 FAX(082)227-4815
E-mail kankansei@pref.hiroshima.lg.jp

詳しくは広島県の環境情報サイト「ecoひろしま」をご覧ください。

ecoひろしま

検索

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/>

リサイクル適性 (A)
この印刷物は, 印刷用の紙へリサイクルできます

広島県

第3次 広島県地球温暖化防止地域計画

令和3(2021)年度 ~ 令和12(2030)年度

概要版



みんなで挑戦 未来につながる
**2050 ひろしま
ネット・ゼロカーボン**

~2050年ネット・ゼロカーボンに向けて~

大幅な省エネルギーを実現する革新的な技術が開発され, 温室効果ガスの分離, 回収, 再利用等の実現



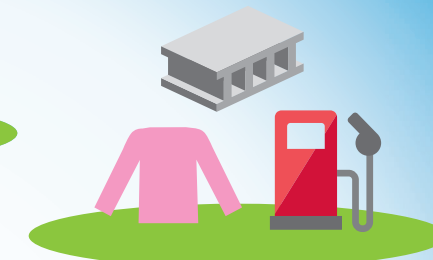
リサイクル, 廃棄物発電, 熱利用等の高度化



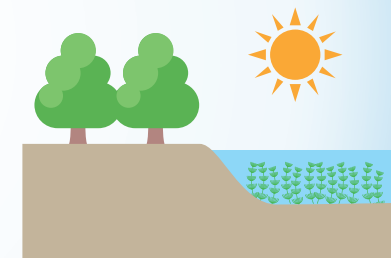
EVやバイオ燃料などによる移動手段のカーボンニュートラル化



ZEH*や蓄電池等機器のトータルマネジメントなどによるカーボンニュートラルでかつ, レジリエントで快適な暮らし



二酸化炭素をコンクリート, 燃料, 化学品等の製品に再利用することによるカーボンリサイクルの実現



森林吸収源, ブルーカーボン, 都市緑化などによる二酸化炭素吸収量の確保

※ ネット・ゼロ・エネルギーハウスの略で, 省エネルギーと再生可能エネルギーにより, 年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅



これは音声コードです。目の不自由な方への情報提供を目的としています。

平成27(2015)年10月	【世界】パリ協定採択(COP21) ・先進国のみならず、すべての国が参加する新たな国際的枠組み ・世界共通の長期目標として平均気温上昇を2℃より十分下方に抑える など
令和2(2020)年10月	【国】カーボンニュートラル宣言 ・「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラルを目指す」と宣言

⇒ 世界や国の動きに同調し、地方自治体による2050年までの二酸化炭素排出量の実質ゼロ(ゼロカーボンシティ)表明や、事業者・団体による脱炭素社会への挑戦(例:(一社)日本経済団体連合会(経団連)による「チャレンジ・ゼロ」提唱)など、各主体の動きが加速

目指す姿

【目指す姿(10年後)】

ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けて、省エネ住宅や省エネ家電等の普及・拡大や、生産・加工・流通・消費の各段階における省エネルギーの徹底、再生可能エネルギーの活用が進み、二酸化炭素の排出をできるだけ抑えた暮らしや事業活動が定着しています。

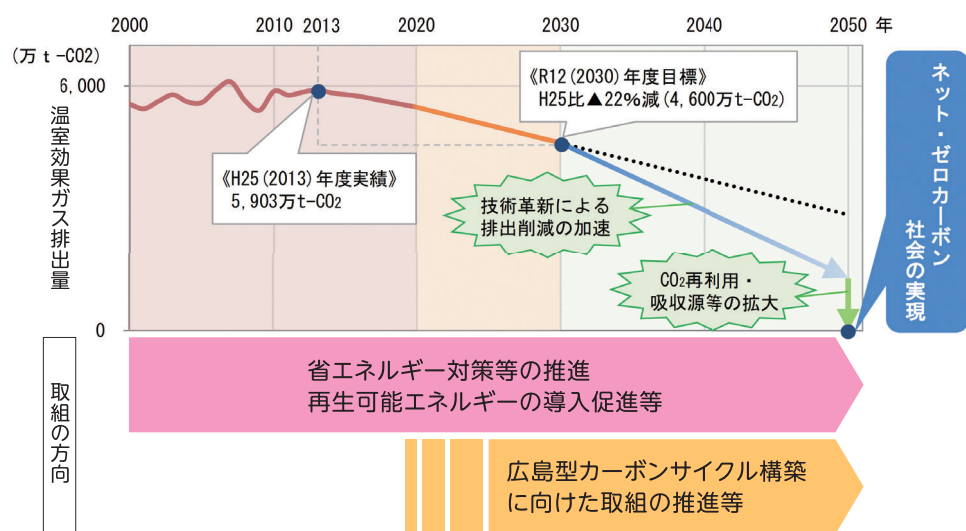
加えて、二酸化炭素を建設資材や燃料等の原材料として再利用する取組や農林水産業における利用、石油由来プラスチックからの代替などを促進し、環境と地域経済の好循環を図りながら、広島型カーボンサイクル構築の取組が加速しています。

【削減目標】

令和12(2030)年度における広島県の温室効果ガス排出量を平成25(2013)年度比22%削減する。

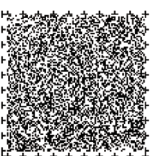
【ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けたイメージ】

《2050年における温室効果ガス排出量の実質ゼロ(ネット・ゼロカーボン)を目指します》



【広島型カーボンサイクル】

二酸化炭素を炭素資源と捉え、広島県の強みを生かしながら、生産活動における再利用や、海洋中で二酸化炭素に分解される海洋生分解性プラスチック等の普及促進などにより、海洋を含む地球上において炭素を循環させる仕組み。

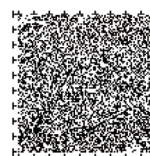


これは音声コードです。目の不自由な方への情報提供を目的としています。

【策定の趣旨】

赤部分が新規施策

施策体系	主な取組の方向
<p>1 省エネルギー対策等の推進</p> <p>【二酸化炭素排出削減対策の推進】 (1)産業部門・民生(業務)部門対策 (2)運輸部門対策 (3)民生(家庭)部門対策 (4)廃棄物部門対策</p> <p>【その他温室効果ガス削減対策の推進】 (5)代替フロン類排出削減対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス削減計画書の策定・公表制度による事業者の自主的な取組の促進 二酸化炭素の排出抑制につながる技術・設備の導入促進 「広島県地球温暖化防止活動推進センター」などと連携した地域の取組の推進 「うちエコ診断」の実施など、二酸化炭素排出量「見える化」の促進
<p>2 再生可能エネルギーの導入促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光のエネルギー利用の促進 木質バイオマスのエネルギー利用の促進 再生可能エネルギーの利用(需要側)に着目した取組の検討
<p>3 カーボンサイクルの推進</p> <p>(1)広島型カーボンサイクル構築に向けた取組の推進 (2)森林吸収源対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 広島型カーボンサイクルの推進 森林の経営管理の推進
<p>4 気候変動を見据えた適応策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動適応に係る情報収集、整理、分析、発信(令和3年4月「ひろしま気候変動適応センター」を設置) 取り組むべき優先順位が高い項目(農業、自然生態系、自然災害・沿岸域、健康、県民生活・都市生活)に係る適応策の推進
<p>5 基盤づくりの促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮の仕組みづくりの促進 低炭素型まちづくりの推進 環境学習、研究、開発の推進



これは音声コードです。目の不自由な方への情報提供を目的としています。